

青少年育成事業(2019 サマーキャンプ)

日 時：令和元年8月2日(金)～8月4日(日) 2泊3日

場 所：岡山県 国立吉備青少年自然の家(岡山県加賀郡吉備中央町吉川)

対 象：町内在住小学生(3年生～6年生) 参加者12名

主 催：智頭町青少年育成推進指導員協議会 指導員参加者10名

目 的：保護者のもとを離れて共同生活を営む中、子どもたちが集団内での自身の役割に気づき、積極的に活動にかかわることで自主性と協調性を育むこと。

ねらい：仲間づくり、自然体験、交流、共同生活、知識取得、人材育成(リーダーシップ)

●実態

夏休みの智頭町青少年育成事業として毎年1回開催。定期的に活動場所を変えながら実施している。

●取組・内容

ウォールクライミング

指示された色のみを使ってどう登るのが最短ルートになるかを考えました。下から見ている子が手足を置く場所の指示をするなど、全員で協力して頂上を目指していました。



野外炊事

カレーとサラダを作りました。食材班、火おこし班、食器班に分かれて作業しました。なかなか火がつかないこともあったり、食材を切る手先が心配になったりしましたが、おいしいカレーができて満足そうな顔をしていました。



カッター訓練

一艇20人乗りのカッターに子供も指導員も一緒になって漕ぎました。途中からコツを掴んだようで、ブイめがけて一直線に進むようになりポイントを落とすことなくゴールできました。施設の方からも褒められて嬉しそうでした。



自然探検(フィールドアスレチック)

施設の森の中に設置されている約20個の遊具で楽しみました。それぞれが友達を誘い合って、手を取りながら一つずつチャレンジしていました。



レクリエーション

子どもと指導員が協力し合って伝言ゲームや難問クイズに挑戦しました。ニュースポーツであるボッチャは、初めて体験する子がほとんどで最初は苦戦していましたがすぐに上達していました。



天体観察

巨大な望遠鏡で木星や土星を観察しました。
実物が見れた驚きと嬉しさで歓声が上がっていました。
専門員の星の話を聞きながら真剣に夜空を見上げていました。



クラフト (バードコール)

オリジナルのバードコール作りに挑戦しました。
キットの形を削り、角をとるために磨き、各々が好きな絵を描いて世界にひとつのものを完成させました。
完成後は所内を散策し、森の中で鳴らして鳥が答えてくれるかを実験してみました。なかなか難しかったです。



参加した児童からは・・・

- ・薪割りや火付けが難しかったけど頑張った。
- ・たくさんのことを体験できて楽しかった。
- ・知らないことをたくさん知れてよかった。
- ・緊張したり心配もしたが全部楽しかった。
- ・次はカヌーをやってみたい。



●成果・課題

- ・日常生活では体験出来ないことも、この事業を通して新たな発見や気づきへと繋がった。
- ・例年よりも参加が少なかったが、少ないながらも集団生活を乱すことなく活動が出来た。
- ・子どもたち自身に「参加したい」と思わせるような内容や工夫が必要となる。